



どうなっとるのか 教えてちょ〜!!



林 重光 議員



動画QRコード

問 Lアラートについて

- ① 避難情報入力において、町の組織体制について
- ② 県と情報入力の取り決めについて

答

総務課長

- ① 「岐阜県被害情報集約システム」とLアラートが連携しており、県のシステムへ避難情報などを入力すると、Lアラートが連動して配信されます。システム操作については年2回の訓練を行い、総務課では、複数人が入力できるよう体制を整えています。
- ② システムにて入力項目が決まっていますので、それに従い入力を行います。市町村が入力する情報としては、災害本部等の立ち上げ、避難情報の発令、避難所の状況、被害情報などがあります。

問

災害発生時における避難所等の通信確保について

答

総務課長

能登半島地震を受けて、岐阜県では可搬型の衛星通信設備（スターリンク）の整備が行われ

ていますが、町においては財政状況などにより実現には至っていません。

町での独自の通信網としては、同報無線による各自治会公民館との連絡及びMCA無線による体制でしたが、本年度よりIP無線の整備を行い、職員だけでなく消防団にも配備し、今後、使用方法などしっかりと説明を行う予定です。

問

新総合防災情報システム（SOBO-WEB）について

- ① 利用と効果について
- ② 使用する課について
- ③ 個人情報等の取り扱いについて

答

総務課長

- ① 国としてシステムの整備が行われましたが、町において新たな機器整備などを行うものではなく、岐阜県被害情報集約システムにより新総合防災情報システムと連動し、必要な情報が伝達されるものとなっていますので、町としての整備は特に行っていません。地図情報を利用した表示方法を多く取り入れているため、視覚的に見やすくなる効果が見込まれます。
- ② 主となるのは総務課と産業建設課です。
- ③ 内閣府が示している「防災分野における個人情報の取扱いに関する指針」を元に判断し取り扱います。





松田 和樹 議員



動画QRコード

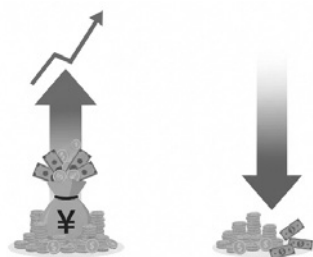
問

収入増、支出減の取り組みについて

答

町長

これからもっとギアを上げ取り組んでいかなければならないと考えています。やれる事、やらなければいけない事も多くあると感じています。



問

グラウンド等、新たなネーミングライツに取り組む意欲はないのか？

答

企画課長

令和7年度からスポーツドーム、テニスコート、東館、西館を対象に実施しています。その他の施設として総合運動場等も可能かと思いますので、当該施設の管理担当課と調整を図っていきたいと考えています。

問

必要のなくなった、カーブミラーを自治会と相談し撤去してはどうか？

答

企画課長

多くは、自治会からの設置に対する要望書が提出され設置されています。そのような事から、行

政だけで判断を行う事が困難ですので、老朽化等により取り替える際に当該自治会への確認を行うなどの対応を検討していきたいと考えています。

問

光熱水費削減について
外灯等の見直しなどできる事があるのではないかと？

答

企画課長

坂祝町エコチャレンジ・プラン地球温暖化対策実行計画に基づき対応します。その中には「外灯等の点灯時間の適切な管理を行います」と定めていることから実行計画に沿って取り組んでいきます。施設においては夜間点灯時間等、検討したいと考えています。

問

事業の大きさにかかわらず、費用・規模・設備など改めてよく考え提示すべきであるのでは？

答

町長

必要な時には、一度立ち止まり皆様の理解を得ながら住民のためになるかを考えながら慎重に取り組んでいきます。

.....



松田 賢治 議員



動画QRコード

問

教員不足解消の取り組み等について

- ①教員不足解消への取り組みは？
- ②教員のストレス対策は？
- ③通級指導を行う教員について

答

教育長

- ①年度途中未補充を解消することは、喫緊の課題であり、教員免許を所有している方で、まだ学校現場で働いたことのない方に情報発信や説明会を開催しながら可茂教育事務所と協力して取り組んでいます。
- ②年度途中の退職を防ぐために、教員のストレス解消のため問題を組織で共有して対応できる体制づくりが重要です。小中学校では、管理職を中心として、「悩みなどを一人で抱え込まず、近くの同僚に相談すること」を呼び掛けています。今後も組織で対応する体制づくりや互いに相談しやすい職場の雰囲気づくりに取り組みます。
- ③町において通級指導は、小学校では、言葉に関する教室が1学級、発達障害に関する学級が1学級、中学校では、発達障害に関する学級が1学級開設されおり通常学級とは別の教室で適切な場所を確保しています。課題は、指導を行える教員の養成や確保です。通級による指導教員については、本町には2名が配置されていますが、今後も対象の児童生徒が増加していくことが予想されますので、通級指導を行う教員向けの研修など計画的に行っていきたいと考えます。

問

中学校に学校司書の配置について

答

教育長

学校図書館法の改正以降、本町においては、小学校、中学校ともに1名ずつ町費をもった配置を継続しており、図書館の運営の改善及び向上に大いに貢献しています。特に小学校においては、その功績が昨年度、可茂地区学校図書館最優秀賞を獲得しており、さらに、令和8年度「子供の読書活動優秀実践校」に対する文部

科学大臣表彰の推薦対象にもなっています。また、「心のケアを含む学習支援の居場所」としての図書館の活用はたいへん有意義であり、不登校児童生徒の居場所として、一人一人のニーズに合った対応を考えていきます。



三品 美紀 議員



動画QRコード

問

町長のマニフェストの進捗状況について

- ①ふるさと納税について
- ②スタートアップ支援事業の進捗状況について
- ③今後の坂祝町の課題と方向性

答

町長

- ①就任当初から、ふるさと納税の強化を主張してきました。就任前は30品目だった返礼品が、現在は100品目を超えました。先般、新聞にも掲載されましたが、柴田自動車株式会社様の返礼品「シバタイヤ」について、クーポン形式での返礼品となり、スタッドレスタイヤを含む同社のホームページに掲載されております製品がラインナップに加われました。こうした取り組みにより、ふるさと納税金額が前年度比で4.89倍の増となりました。今後も特産品の開発や情報発信の強化も進めていきます。
- ②新たに小規模企業者事業所等整備補助金を創設します。この補助金は、町内業者の振興や地域経済の活性化のために、町内の小規模企業者や新たに創業される方が、町内で事業所等の改修や新築を行う場合に、その費用の一部に対して補助金を交付し事業者の支援を行います。
- ③現在の町の一般会計は、財政調整基金を取り崩しての予算編成となっており、令和7年度

は、3億7千万円を取り崩しての予算となっています。10年前の平成28年度一般会計予算は33億。令和7年度一般会計予算は43億7千万円です。運営していくだけでも厳しい状況に加え、インフラ整備、上下水道整備、各施設の維持管理、小中学校建設などの課題があります。坂祝町を安定して運営していくためには、徹底した見直しが必要です。健全財政を目指すうえで、できることは2つ、削減と税収増です。ふるさと納税では、返礼品を増やすことに加え、認知していただくための見せ方を考えます。またネーミングライツやスタートアップ支援を推進します。企業誘致に関しましては社会情勢を見極めて行う必要があると考えています。現状維持ではなく攻めの姿勢で稼ぐ行政を目指します。



林 俊太 議員



動画QRコード

問 坂祝町リサイクルステーションの今後の運営方針について

- ① リサイクルステーションの目的について
- ② 利用状況及び収集量の推移、利用者の声について
- ③ 今後の運営方針について
- ④ 利用促進のための広報・啓発活動や住民参加型の仕組みについて
- ⑤ 『リサイクルルート』の状況について
- ⑥ リサイクルステーションとの各公民館の資源物収集の両事業の今後の運営方針や課題について

答

水道環境課長

- ① これまで町内には常設のリサイクルステーションがありませんでした。町内事業者と連携し、古紙の収集から再生までのリサイクルルートを確認し、資源の有効活用を促進する拠点となることを目的としています。分別意識向上とごみ削減を目指すため、地域の環境問題に密着した同施設を開設しました。



↑坂祝町リサイクルステーション

- ② 現在の利用状況 5月から7月の利用者は、日曜日が1日平均約70人、水曜日が1日平均約40人です。収集量は開始当初から少しずつ増加しています。特にペットボトルと食品トレイは、前年度の月平均を上回りました。利用者から「週2回出せてありがたい」という声をいただく一方、「場所が遠い」とのご意見もあります。
- ③ 今後、プラスチック資源の回収を進めたいと考えています。回収時間など当面、現行どおりですが町民の声を聴きながら対応していきます。令和8年度からプラスチックごみの回収を試行し、令和9年度からの本格実施を目指します。また近年減少している子ども会などの資源集団回収に代わる学びの場として、関係機関と調整しながら教育的な施設運営も検討します。
- ④ 広報紙やごみアプリなどを活用し利用促進のための広報・啓発を継続します。将来的には、学校や地域団体と連携した住民参加型の仕組みも検討します。
- ⑤ 町内で排出された古紙類が町内の事業者によって回収・再生されるリサイクルルートを確認しており、現時点では毎月約8千円が町に還元されています。
- ⑥ この事業が定着すれば、各公民館での資源物収集を本ステーションへ移行することや利用者がきちんと分別できる状況になれば、無人拠点を増やすことも視野に入れています。一方で「場所が遠い」などといった方々への対応が今後の課題です。



佐藤 猛 議員



動画QRコード

問

坂祝町における空家対策について

社会問題である空き家の増加は、倒壊や火災の危険、景観や環境の悪化、防犯や衛生面の課題を引き起こします。町でも令和6年度の職員パトロールにより135件が確認され、一部は特定空家として対応が進められています。空家バンク登録も2件にとどまり、利活用促進が課題です。この現状を踏まえ、町の空家対策についてお聞きします。

- ① 特定空家(※)への対応について
- ② 空家等の利活用促進について
- ③ 空家等対策計画の中間評価と今後について

(※)「特定空家」とは

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき放置すると倒壊等著しく保安上危険となる恐れがあるもの、衛生上有害となる恐れがあるもの、適切な管理が行われないことで景観を著しく損なっているもの、又は周辺の生活環境保全のために放置することが不適切と認められる空家を指します。

答

産業建設課長

- ① 令和2年度以降、累計6件を特定空家に認定し、3件を除却、現存3件は勧告や助言を継続中です。危険度の高い物件から優先的に協議会にはかり、必要に応じ行政代執行も検討します。

答

企画課長

- ② 空家バンクの成約は1件のみで、登録数も少ない状況です。書類準備の煩雑さが障壁となっていますが、次期計画のアンケート調査に空家バンク利用希望を盛り込み、所有者への働きかけを強化していきます。

答

産業建設課長

- ③ これまでに特定空家等11件へ対応し、6件を

除却、現存は3件です。令和4年度からは空家パトロールを実施し、241件を確認、そのうち135件を空家と把握しました。引き続き巡回を行い早期発見に努めるとともに、現存3件の解消を目指します。計画最終年を迎える令和9年度に向け、再度の実態調査を準備し、相続等により増加する未利用住宅を把握していきます。令和5年の法改正を踏まえ、利活用の促進と管理不全空家の抑止、特定空家の除却を重点に、計画改定を進める方針です。



三品 幸範 議員



動画QRコード

問

住民との窓口業務について

- ① 待ち時間の長さ・混雑の解消について
- ② 書類記入の煩雑さの解消について
- ③ 職員対応の質・接遇力について
- ④ デジタル化・オンライン手続きの推進について
- ⑤ 総合窓口・ワンストップサービスの整備について
- ⑥ 民間委託・外部人材の活用について
- ⑦ その他の取り組みについて

答

窓口税務課長

- ① 現在待ち時間が発生する場合はロビーでお待ちいただき、その待ち時間は概ね10分以内です。順番が前後しないようご案内しています。
- ② 申請書作成支援機を導入しています。これはカード読み取り機で身分証明書の情報を読み取り、住民票の写し、印鑑証明、戸籍謄本、納税証明、国民健康保険関係の申請書等が発行されます。現在の利用率は約24%で、外国籍の方の利用が増えています。
- ③ 職員は、岐阜県市町村振興センターが実施す

る「接遇基礎研修」を受講しており、新規採用職員は「新人採用職員研修」で住民対応の基本を学んでいます。

- ④当町はコンビニ交付をはじめ、申請書作成支援機の導入など先進的に取り組んできました。オンライン手続きの実績としては、マイナポータルを使って転出の手続きができるようになっていきます。
- ⑤総合窓口、ワンストップサービスの整備については、決して容易ではありませんが、窓口税務課は、役場に入って最初に住民の皆様と接する場所として担当業務以外のご案内もできるよう意識付けをしています。これには対応する職員の一定の経験値が必要になってきますので、窓口には経験豊富な職員の配置も行っています。
- ⑥特に戸籍事務には、専門的なスキルを持った職員が必要となります。費用対効果を考慮し外部委託も検討します。
- ⑦住民サービスの向上と業務効率化を両立するには、「デジタル化・オンライン手続きの推進」が重要と考えます。



兼松 雄司 議員



動画QRコード

問

今後の小学校トイレ洋式化について

- ①洋式化が進んでいない理由は？
- ②今後の計画は？

答

教育課長

- ①令和4年の答弁では、10年後を見据えて小中学校の建て替え・移転等を進めていかなければならないことを考え、今の時点で大型予

算を投入して大規模なトイレ改修を行うことは考えていません。令和6年の答弁では、学校現場からは、「これ以上洋式トイレは必要ない」とのことです。

- ②今後の小学校トイレの洋式化につきましては、現在、具体的な計画はございません。

問

小・中学校を一貫した教育について

- ①小・中学校を一貫した教育の見解は？
- ②小・中学校間の授業の乗り入れの現状は？
- ③今後の授業の乗り入れは？

答

教育長

- ①小中一貫教育を行ってきた自治体で、児童生徒の「学習意欲が高まった」「授業が理解できると答える児童生徒が増えた」等、学習面のメリットや、「児童生徒の規範意識が高まった」「中学校への進学に不安を感じる児童が減少した」等、生活面のメリットが報告されています。これは、小中学校が連携して、児童生徒の成長を促すための教育活動を意図して仕組み、取り組んでいったからであると捉えています。本町でも推進していきたいと考えています。
- ②現在のところ音楽の免許を所有している中学校教師に対して兼務を発令し、小学校に出向いて音楽の授業を行うことをしています。
- ③教員の配置人数と、学校を移動しながら勤務を行う現状を鑑みますと、大幅に授業の乗り入れを増やすことは現実的ではないと捉えています。しかし、小中学校を教師が行き来しながら児童生徒と接することは、多くの教育的効果を生み出すと考えます。今後は、教員の加配要望内容を考慮し、小中学校相互の乗り入れも実現できないか模索していきたいと考えています。

